KB1

Keyboard Amplifier

取扱説明書

このマークは製品のエンクロージャー内に、絶縁されていない危険な電圧が存在し、感電の恐れがあることをユーザーに警告するためのものです。

このマークは製品に付属する文書内に重要な操作およびメンテナンスの指示があることをユーザーに警告するためのものです。

注意：感電の危険があるのでカバーを開けないで下さい。
注意：感電の危険を回避するために、カバー（または背面部）は取り外さないで下さい。内部パーツの修理に関しては、販売店にご相談下さい。

警告：火事または感電事故を防ぐために、本製品を雨や湿気にさらさないで下さい。本製品は水滴や水しぶきにさらさないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないで下さい。

重要な安全指示

警告：電気製品を扱う際は、以下に示す重要な注意事項を必ず守って下さい。

1. 取扱説明書を必ずお読み下さい。
2. 取扱説明書は大切に保管して下さい。
3. 製品と操作説明に関する警告に留意してご使用下さい。
4. すべての指示事項を順守して下さい。
5. 水の近くでは本製品を使わないで下さい。
6. 掃除には乾いた布だけをお使い下さい。
7. 換気孔をふさがないで下さい。メーカーの取扱説明書に従って設置して下さい。
8. ラジエーターや熱調整装置、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源の近くに設置しないで下さい。
9. 電源プラグがコンセントの差し込み口に合わない場合等、古いコンセントの取替えについてはメーカーサポートにご相談下さい。
10. 電源コードは、特にプラグの差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分が引っかかり、抜けたり挟まれたりしないように保護して下さい。
11. アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご使用下さい。
12. 台車やスタンド、三脚、ブラケット等は、メーカー指定のものか、本製品用に販売されているものを必ずご使用下さい。台車を使用する場合は、本製品を載せて移動する際、ケガをしないよう注意して下さい。

13. 長期間使用しない場合や、雷を伴う嵐の際はプラグをコンセントから抜いて下さい。
14. メンテナンスの際は、販売店に必ずご相談下さい。 電源コードやプラグの損傷、液体や異物が本製品内に入り込んだ場合、本製品が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない場合、本製品を落とした場合など、本製品が何らかの状態で損傷した場合は、メンテナンスが必要です。
15. 電源コードは表示に従って接続して下さい。
16. ラックにマウントする際は、リアハンギングブラケットを取り付ける必要があります。
17. 本製品は水滴や水しぶきがかからないようにし、花瓶など、液体が入ったものを本製品の上に置かないで下さい。
18. 極度に高いノイズレベルに長時間さらされると難聴となる恐れがあります。難聴を引き起こすレベルには個人差がありますが、一定期間大音量を聞いているとほとんどの人の聴力が低下します。米国安全衛生局（OSHA）は以下の表のようにノイズレベルの基準値を定めています。

1日のノイズ暴露時間	サウンドレベル(dBA)
8時間	90
6時間	92
4時間	95
3時間	97
2時間	100
1.5時間	102
1時間	105
30分	110
15分以下	115

OSHA によれば、上記の許容量を超える状況は聴覚に悪影響を及ぼす可能性があると指摘しています。大音量を発生する機器の周辺に長時間いる場合、耳を保護するよう心掛けて下さい。機器を操作する時間が上記を超える場合は耳栓等を装着して下さい。

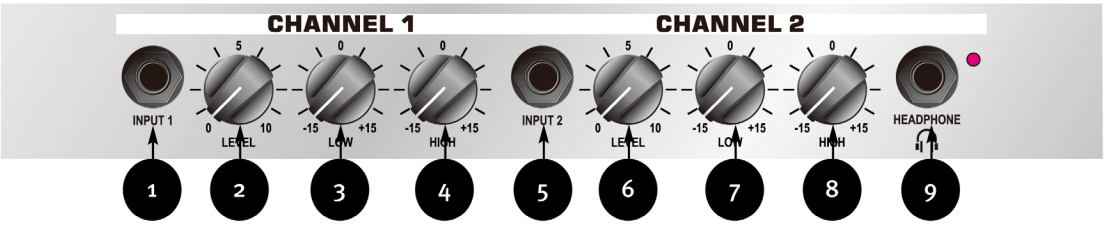
KB1

この度はPEAVEY KB1をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
PEAVEY KB1 は、練習/ライブ前のウォームアップ/曲作りなど手軽にかつハイクオリティーなサウンドが求められる使用環境に最適なアンプです。
KB1は、キーボードだけでなくアコースティックギターなど小型ながらもフルレンジの出力を必要とする楽器の演奏に役に立つコンパクトデザインとなっています。
出力20WのKB1は、耐久性に優れた8”スピーカーに加えて、ヘッドフォン端子も搭載。2チャンネル仕様で、標準フォン入力端子、レベルコントロール、2バンドアクティブイコライザー(ロー/ハイ)といった機能を備えています。フロントパネルのヘッドフォン端子を使用している時は、内部スピーカーは自動的に出力されなくなります。

KB1の製作にあたり、できる限りコンパクトに、そしてできる限り軽くすることを目指しました。どこへでも持ち運ぶ事ができるので、移動が多い環境にフィットします。

KBシリーズは全て、ツアーにも耐える堅牢な設計となっています。
コーナー金具で補強したとても頑丈な黒い外装、丈夫でしっかりとしたハンドルを付属、また、スピーカーを保護するための頑丈なメタルグリルを採用しています。

フロントパネル



チャンネル 1

1) 入力端子：PHONE（1/4”）端子
キーボードやアコースティック楽器からの信号を入力します。

2) レベル
1)の入力端子に入力した信号のレベルを調節します。

3) ローEQ
低域の調整を行います。（シェルビング・タイプ：±15dB）
※過度に低域をブーストするとスピーカーにダメージを与える事があります

4) ハイ EQ
高域の調整を行います。（シェルビング・タイプ：±15dB）

チャンネル 2

5) 入力端子：PHONE（1/4”）端子
キーボードやアコースティック楽器からの信号を入力します。

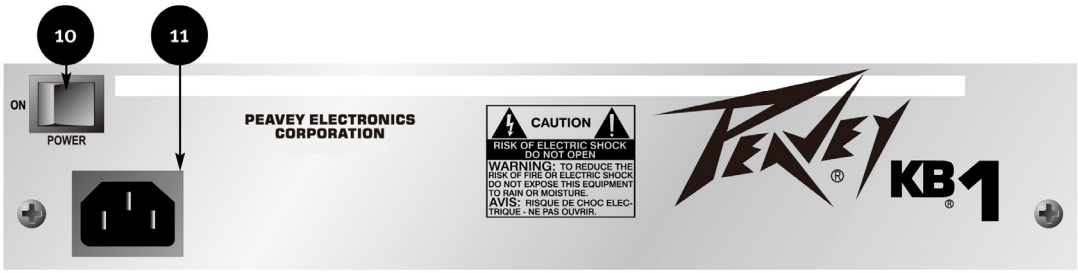
6) レベル
5)の入力端子に入力した信号のレベルを調節します。

7) ローEQ
低域の調整を行います。(シェルビング・タイプ：±15dB)
※過度に低域をブーストするとスピーカーにダメージを与える事があります。

8) ハイ EQ
高域の調整を行います。(シェルビング・タイプ：±15dB)

9) ヘッドフォン端子
ステレオヘッドフォンを接続します。
この端子を使用している際は内蔵スピーカーからは音が出ません。

リアパネル



10)電源スイッチ
電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。
電源が入っているときはフロントパネルの赤いパイロットライトが点灯します。

11) AC 電源ソケット
付属の電源コードを接続します。
電源コードをアンプに接続した後に、プラグをコンセントに接続して下さい。誤った電圧で使用した場合、機器にダメージを与える可能性がありますので電圧が正しいことをご確認下さい。

12)可燃性の物から 30cm 以上離して設置してください。

KB1 仕様

定格出力:20W RMS/4Ω

クリップ時の出力(通常):20W RMS/4Ω(5%THD,1kHz,100VAC line)

全高調波歪:0.5%以下,100mW から 12W RMS,60Hz から 10kHz、4Ω(通常 0.2%以下)

消費電力:50W,50/60Hz,100VAC

プリアンプ部
以下の仕様で、「公称レベル」とは入力信号のレベル調整を 5 に設定、「最低入力レベル」とは入力信号のレベル調整を 10 に設定し、1ｋHz で測定したものです。

楽器入力:
入力インピーダンス:220KΩ
公称入力レベル:-4.5dBV,600mV RMS
最低入力レベル:-20.6dBV,93mV RMS
最大入力レベル:+12dBV,4V RMS

周波数特性:+0,-2dB,50Hz から 10kHz

ヘッドフォン出力:(ステレオヘッドフォン端子、モノラル信号)
負荷インピーダンス:4Ω以上
公称出力:20mW/4Ω
(この端子を使用している際は内蔵スピーカーからは出力されません)

システムハム&ノイズ:80dBV(両チャンネル駆動時)

イコライザー(両チャンネル):±15dB@80Hz/8kHz、シェルビングタイプ

重量・外寸:7.8kg, 35cm(W)x23cm(D)x36cm(H)

KB1 ブロックダイアグラム